



FERRIS
UNIVERSITY



フェリス女学院大学 同窓会会報

Ferris University Alumni Association : Littera and Fgroup



図書館 / ラーニングcommons



チャペル (緑園キャンパス)



山手10号館

PICK UP

- 新学部、入試案内…………… P4
- りてら…………… P8
- Fグループ ……………P12

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。
ヨハネによる福音書1章1節

フェリスの英知と気品と パイオニア精神

フェリス女学院大学は、今年度と来年度、大きな変革期の直中にあります。4月に小檜山ルイ学長が就任されましたが、フェリス女学院にとって初めての学外からの招聘学長であり、初めての女性学長であります。着任早々、副学長共々来年度入学者確保強化策や来年度学部学科再編の諸準備等の改革に精力的に取り組んでおられます。来年度には現在の3学部5学科から1学部3学科9専攻に再編される大学創立以来の大改革が行われます。

又、学院全体としても私立学校法の改正に伴い寄附行為が改正され、来年度より学院のガバナンス体制が一新されます。

かかる改革はミッションステートメント第3段落「フェリス女学院は、社会環境の変化に自己変革をもって柔軟に対応し、いつの時代にも社会から信頼される教育研究機関になることを目指す」の将に実践なのです。

しかしこのような改革期にあっても変えてはならない、確り守るべきフェリスの本質を忘れてはならないと私は思います。それはミッションステートメント第1段落「フェリス女学院は、メアリー・E. キダーによる1870年の創立以来のパイオニア精神を尊び、キリスト教信仰に基づく「For Others」を教育の中心に据える」であり、第2段落の「フェリス女学院は、まことの



理事長 亀徳 忠正

自由と自律を尊重する教育を通して、絶えず他者を尊び、自己に誇りをもち、広く多様な人々や社会と交流し、実りある豊かな社会や世界の平和とその発展に寄与する人を世に送り出す」ことなのです。新しい事に飽くなき挑戦をするパイオニア精神を持ち、キリスト教の信仰に基づく生きる英知の探求心を持ち、気品ある生き方をする人を世に送り出す事はフェリス女学院の永遠のそして変わらぬテーマなのです。私はこのような生き方を体現されているフェリス女学院短期大学家政科ご卒業のエッセイスト比企寿美子(旧姓三宅)さんをご紹介しますと思います。比企さんは私と教会生活を共にするクリスチャンですが、代々外科医の家系でご主人も外科医ということもあり「医」に関する大変な知見をお持ちで、戦争体験から平和への希求は並々ならぬ方です。多くの著作を通して、知への飽くなき探求心、クリスチャンとしての気品ある生き方、言ってみればフェリスの香りが伝わってくるのです。

私は「フェリスの心」をいつまでも大切にしたいと思っています。

大学の新しい船出

大学同窓会の皆さま、お元気でいらっしゃいますでしょうか。新型コロナウイルスが猛威を振った期間、親しい人との交わりさえ困難になりましたが、逆に、ともに集い、話し、歌い、祈ることの大切さを再確認することにもなりました。パンデミックをのりこえつつある今、同窓生の皆さまとの新たな交わりが、以前に増して活性化しつつあることをうれしく思います。

フェリス女学院は学院創立150周年の年に、ミッションステートメントを公表しました。次の50年、100年に向けて、学院はどうあるべきかの宣言です。建学の精神「キリスト教の信仰に基づく女子教育」と、教育理念「For Others」の継承は言うまでもありません。一方、社会環境の変化に対応した「自己変革」も積極的に推進していきます。改革し続ける姿勢を大切にするのは、改革派教会の伝統でもあります。

大学では新学長に小檜山ルイ先生を迎え、来年四月スタートの「グローバル教養学部」の準備が着々進められています。四つめの学部ができるのではなく、文学・国際交流・音楽の三学部体制だったフェリスの大学教育を一つの新学部統合する改革です。たのしみですね。その結果、2028年度以降は、大学の卒業生全員がグローバル教養学部の卒業生ということになります。



学院長 秋岡 陽

しかし同じフェリス女学院の大切な卒業生が誕生することによって変わりありません。

「パイオニア精神」はキダー以来の学院の基本姿勢です。聖書を片手に蒸気船で大海原に乗り出した150余年前を彷彿させる大学の新しい船出を、卒業生の皆さまと一緒に応援したいと思います。



自宅で音楽学を愉しむ
新しいヒントやトピック満載!

発売日：2024年8月24日
著者/編集：秋岡 陽(著)
出版社：株式会社音楽之友社

「開かれたフェリス」 をめざして

フェリス女学院大学は、今、設立以来の大危機にみまわれております。再生を期して、来年度から、3学部体制に代わり、1学部3学科9専攻体制を開始する予定です。1学部になると、将来的に、社会の変化に応じて学科・専攻の再編を迅速に行い、スリム化の必要に対応することが、より簡便になります。教授会が一つになるので、1年次生を中心に全学共通の授業を展開し、キャリア教育、情報教育など、学生一般の新たな必要に応えることがスムーズにできるはずです。同時に、9専攻における、各人の関心に従った学びを実現いたします。1学部なので、学科、専攻間の移籍もより簡単になり、入学後の学生の志向の変化への対応もより容易になります。

大学改革のテーマは、「開かれたフェリス」です。フェリスという「城」に閉じこもるのではなく、門戸を広く開けて、さまざまな人がキャンパスで行き交い、情報と活気をもたらす大学にしたいと考えます。そのために、高校、他大学、各種企業との連携を強化いたします。先生方が個々に展開している学外の活動を応援するとともに、その知見や人脈を大学全体に環流できるように仕組みを模索中です。

同窓生の皆様には、学外連携の具体的な相手、協力して下さる企業をご存知でしたら、学長室にぜひ教えていただきました



学長 小檜山 ルイ

と思います。また、リカレント教育を強化する予定です。学び直しをお考えなら、ぜひ母校にいらしてください。正規学生、科目等履修生、聴講生としての受け入れができます。また、現在構想中の音楽副専攻をまるごと履修していただき、ディプロマを出すことも検討中です。

皆様のお支えをお願いいたします。



<2024年6月の新学長就任記念イベントにて>

感謝とご報告

常日頃からフェリス女学院大学をお覚え下さり誠にありがとうございます。皆様にお支えいただきいつも心から感謝しております。

フェリス女学院大学では2025年度から新しく「グローバル教養学部」を設置することにいたしました。2022年から進めておりました大学改革がここに結実することとなります。

新しいグローバル教養学部では、複雑化・多様化する国際社会において、変化に柔軟に対応し、また、異なる文化や価値観をもつ人々と協働できる、新しい時代を切り拓く女性を育てていきたいと考えております。

グローバル教養学部は、これまでの文学部・国際交流学部・音楽学部の3学部を再編し、1学部といたします。そのなかに「国際社会学科」「心理コミュニケーション学科」「文化表現学科」の3学科を設け、さらにそれぞれの学科内に3つの専攻を置く形となります。

大学の全体的な改革は、1997年の国際交流学部設立以来のこととなります。現在、残念ながら女子大に対する逆風が吹いておりますが、この改革によりこれまで顕在化していなかった女子教育の可能性を社会に明示していきたいと願っております。

私事となり恐縮ですが、昨年度にて4年間の学長職の任期を



前学長 荒井 真

終えました。コロナ禍などに翻弄された4年間でしたが、皆様のお支えにより、何とか全うすることができました。

今後とも同窓会の皆様のご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。以上、感謝をもってご報告いたします。



<2023年6月に韓国大学生訪日団を緑園キャンパスにお迎えし、楽しい交流のひと時をもちました>

2025年4月

グローバル教養学部 開設

Faculty of Global Liberal Arts

大学は1学部3学科体制へ

1年次/2年次は学科共通で基礎となる幅広い分野を学び、3年次から専攻で専門領域を探究します。専攻では、1人ひとりの関心に従い、社会で生きるスキルと知識の獲得を目指しますが、そのためには幅広い視野と知識が欠かせません。1・2年次には副専攻に加え300近い全学共通科目から自由に豊かな学びを得ることができます。大学のこれからの学びにご期待ください。

国際社会学科

格差、紛争、人権、環境問題などのグローバルな課題への理解を深め、知識を行動につなげる力を得ます。国際的なビジネス感覚を持ち、持続可能な国際社会に貢献します。

国際関係専攻

開発援助、世界で起きている人権問題、紛争解決のための政策、グローバル化が社会構造に与えた影響、女性と政治、多文化主義、持続可能な発展などの課題を理論と実践で学びます。

地球社会・環境専攻

環境経済学、アジアの経済成長、開発と環境の関係、フェアトレード、法律と企業活動などを学び、海外現地実習では環境保護の最前線に触れ、改善の政策や方法を分析できるようになります。

国際ビジネス・観光専攻

国際経済、金融政策、経営、日本企業の成長戦略、マーケティング、ツーリズム、地域経済の理論と課題を学びます。観光を通じた地域創生の現場実習では、実務レベルの基礎的なスキルを身に付けることができます。

心理コミュニケーション学科

心理学・社会学・メディア論・多文化共生・ジェンダーの視点から、多様な文化的背景、価値観を持つ人々との共生社会を実現するための実践的な方法論や資格を修得することができます。

心理専攻

心理学、言語学、社会学など複数分野で人の行動の背景・心の問題や、心理学と結びついた言語(異文化)コミュニケーションを学びます。心理学関連の資格取得(認定心理士/公認心理師の学部科目)が可能です。

メディア専攻

人と人をつなぐ役割を担う、多様なメディアを活用した「心」の伝え方を学びます。コンテンツ、アプリケーション、コンピュータ音楽制作、映画研究、調査、取材、出版、編集デザイン、分析のスキル修得が可能です。

共生コミュニケーター専攻

国際社会学、ジェンダー論、多文化共生論、日本語教育学などの理論とフィールドワークにより、多文化・多言語社会をコーディネートするスキル、コミュニティ通訳として現場で活躍するためのスキルを修得できます。



これからの世界を生き抜く力をそだてる

2025年度から、大学はこれまでの3学部5学科から、1学部3学科9専攻とこれに4つの副専攻を加えた体制に移行します。この変更は、変わりゆく未来に対応する学びを機動的に、そして柔軟に提供するためのものです。

文化表現学科

欧米・アジア・日本の文学、音楽、舞台芸術、映画などにおける表現や、その背後にある社会と思想について、また創作とビジネスの関係について分析します。映像やサウンドデザインなど、創造・発信方法も修得できます。

ヨーロッパ・アメリカ専攻

喜びと悲しみ、笑いと悩みを人はどう受け止め、表現してきたか—その深さと多様性を欧米文化の中に探ります。歌(音楽)・小説・演劇・映画から芸術・デザイン・服飾・食文化まで、解釈し発信する力を養います。

日本・アジア専攻

日本の言葉の歴史を知り、文学・音楽・アニメなどを社会的視点から分析します。また、中国・韓国の文化や日中・日韓の文化交流について理解します。興味ある題材を探究し、高度な読解力と表現力を修得します。

音楽・身体表現専攻

クラシックからポピュラーまでの音楽、作・編曲、演奏や、世界のダンス、サウンドデザインやコンテンツ制作などを実践的に学び、ビジネス知識も得ることで創作・表現活動を可能にする力を身に付けます。



卒業生子女等入試

玄孫、甥姪の子までチャンスがあります

卒業生の皆様の4親等以内の方(2025年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みであり、その他出願条件を満たす女子)が対象で書類審査と面接(口頭試問を含む)で可否を判定します。

出願条件は専願、全体の学習成績の状況3.0以上、学校長の推薦書等。ぜひ次の世代にフェリスをつないでください。

【実施日程】

入試実施日：2024年11月23日(土)

出願期間：2024年11月1日(金)～2024年11月7日(木)

合格発表日：2024年12月1日(日)

※ 詳細につきましては大学公式サイトにて9月以降公開予定です。

【お問い合わせ】入試課(045-812-9183/univ-nys@ferris.ac.jp)



フェリス女学院大学 同窓会総会

合同総会は、すべての大学同窓会がカイパー記念講堂に集い、礼拝形式で行われます。Fグループによるミニコンサートも愉しめます。時を経て、多くの先輩、後輩と共に賛美歌や校歌を歌う感動を一緒に味わいませんか。ぜひ、足をお運びください。

第19回合同総会が、初夏の清々しい晴天の下、カイパー記念講堂にて開催されました。礼拝は小檜山ルイ学長、奏楽をFグループ小清水桃子さんをお願いいたしました。聖書ヨハネによる福音書1章1〜5節を朗読され、「初めに言があった」をめぐって」と題してお話しされました。「言葉(言)」は「意味」を意味し、「初めに意味があった。意味は神と共にあった。意味は神であった。」このように置き換えることで、自身が人生の意味を作るのではなく、自身に日々向かってくる出来事に意味が秘められており、それに立ち向かうことでその意味を見出し、だから初めに言があるのだとお話しされました。また、どう立ち向かうかを決める自由が私達にはあるとおっしゃいました。

総会は、大学同窓会を代表し、金子和恵りべるて会長の挨拶の後、亀徳忠正理事長より、4月に小檜山ルイ学長を迎え、大きな改革に向け準備中であること、来春スタートの学部改編、体制の強化、学院のガバナンスの一新

により、全く新しいフェリスをお見せしたいとのお話しをいただきました。続いて秋岡陽学院長より、建学の精神と教育理念は変わらず、しかし社会環境の変化に対応して改革を進めることの大切さ、更に150年前に勇敢な先駆者であったメアリー・E. キダーが示したパイオニア精神を彷彿とさせる改革が今始まるうとしている、いい学校にしましょうという心強いメッセージをいただきました。最後に小檜山学長より、再生を期して今大学が直面している最大の危機に全力で立ち向かうこと、少子化対応や女性も生涯働き続ける時代を前提に、卒業後の職業をイメージできる専攻を設けることなどをお話しいただきました。

その後、團伊玖磨先生 生誕100年を記念し、音楽学部卒業生による美しい弦楽アンサンブルの伴奏で、校歌を歌いました。出席の同窓生、先生方の心が一つになったような感動的なひとときでした。そして、各グループ会場へと移動しました。



フェリス女学院大学同窓会総会式次第
2024年6月8日(土)13時 於カイパー記念講堂

開会の辞	司会 山縣 幸子
礼 拝	司式・説教 小檜山 ルイ 先生 奏 楽 小清水 桃子
前 奏	J. S. Bach : Ich ruf zu dir Herr Jesu Christ BWV 639
聖 歌	289番「みどりもふかき」
説 教	ヨハネによる福音書1章1〜5節 「初めに言があった」をめぐって
祈 禱	463番「わが行くみち」
讃 美 歌	J. S. Bach : Wie nach einer Wasserquelle BWV 1119
総 会 ご挨拶	大学同窓会代表 りべるて会長 金子 和恵
来賓ご挨拶	理事長 亀徳 忠正 学院長 秋岡 陽 学 長 小檜山 ルイ
校歌	～團伊玖磨先生生誕100年を記念して～ 作詞：英 康子 作曲：團伊玖磨 弦楽合奏版編曲：岡島 雅興名誉教授 音楽学部卒業生による弦楽アンサンブル ヴァイオリン I 平山 智子・菊地 理恵 II 鶴田 枝里・梅田 みお ヴァイオリン II 大岡 美奈・山田 典子 ヴィオラ 磯野 由美・中野 律子・伊藤 温佳・下村 伶奈 チェロ
閉会の辞	



りてら同窓生のつどい

総会終了後、150周年記念館ホワイエにてりてら同窓生のつどいを開催いたしました。ご来賓に小椋山学長、杉之原副学長、梅崎文学部長、矢野国際交流学部長、大谷大学事務部長をお招きしました。先生方より、学長、副学長2名の女性3名で新たなスタートを切り、女性同士が手を取り合っ前に進むことがどれ程心強い日々痛感しているとのメッセージをいただきました。更に新学長からは、同窓会は学校としての一体感を持つのに大変重要な組織とのお言葉を頂戴しました。今後も同窓生同士の繋がりを深め、同窓会が母校の応援団となれたらとの思いを強くしました。その後は先生方にもご参加いただき、フェリスグッズが当たるビンゴ大会を開催。ビンゴとなった同窓生、先生にはフェリスでの思い出をお話いただき、楽しい学生生活だったと振り返る言葉に、皆さん頷かれていますのが印象的でした。今年も幅広い年代の同窓生にお会いすることができ、懐かしい出会いに喜び合う姿も見られました。

また、活動をお手伝いいただくサポーターに多くの方がご登録くださり、心からお礼を申し上げます。来年も山手の丘で楽しく懐かしい時間を共有できますようお願いしております。



(古谷ゆかり・1987E)

Fグループの集い

6月8日(土)カイバー講堂での総会に引き続き、Fグループの集いを96名のご参加をいただき開催することができました。

はじめに5月に逝去された宗先生を偲び、オルガンの調べとともに黙祷を捧げました。小椋山学長、谷口音楽学部長からご挨拶を賜り、学年幹事会の報告が伝えられた後、藏田雅之先生によるお話と演奏を拝聴しました。「詩と音楽」の表題のとおり、先生の豊かなお声に、日本語の曲も、シューベルトのドイツ語も、曲の持つ世界観や景色が浮かびあがり、心によさしく響く素晴らしいひと時となりました。最後に各支部長より活動についてご説明いただき閉会いたしました。

ロビーでは、中田喜直先生の研究会の方によるCD販売、Fグループグッズの販売、ウクライナ避難学生への支援募金とFグループへの寄付も募り、多くの方からお気持をお寄せいただきました。

また閉会後には、150周年記念館の資料館や同窓会室の見学の機会も設けることができ、同窓会室では懐かしい先生方のお



(河崎佳織・32回)

写真に見入る卒業生の方もいらつしやいました。来年も皆さまと共に、Fグループの集いが開催できますように願っております。

第33回りべるて総会

6月8日(土)合同総会終了後、家政科記念館に場所を移し、小椋山ルイ新学長、大谷智夫事務部長、ご臨席のもと、りべるて総会を開催いたしました。

小椋山学長からは、2025年度より発展改組となるグローバル教養学部についてのご説明と、ウクライナからの学生への支援をお願いしたい旨のお話をいただきました。

会長挨拶に続き、出席者数と委任状の合計により総会の成立が報告され、議事に入りました。2023年度事業報告、決算報告、会計監査報告、2024年度事業計画(案)、同予算(案)が審議、承認されました。

その後、星野事務局長にご出席いただき、短期大学家政科事業基金の経緯と現状について説明をいただきました。出席者よりの質問を受け、星野事務局長は丁寧にお答えいただきましたが、厳しい状況であると認識いたしました。今後の活動に影響のある事柄ですので、同窓会で検討を重ねるといたしました。

その後、記念館冠木門前で集合写真を撮影し、参加された皆様方と和やかなひと時を過ごしました。来年も記念館で皆様とお会いできますよう祈念しております。

(鈴木初枝・D44)



2023年度 学位授与式



3月21・22日の2日間に分けて卒業式が行われ、同窓会を代表してFグループ永川恵子会長よりお祝いの言葉が贈られました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで5年ぶりに保証人が参列できるようになり多くの方々が見守るなか、文学部286名、国際交流学部201名、音楽学部72名、大学院研究科6名の合わせて565名がひとりずつ名前を読み上げられ学位を受け取りました。



ウクライナ避難学生支援募金

本学が受け入れている避難学生の生活を支えるため、各同窓会ごとに募金箱での寄付を募り、2023年度は、りてら32,100円、Fグループ63,000円になりました。皆さまのあたたかいご協力に心より感謝申し上げます。

大学では引き続き、一口1,000円としてご支援を受け付けております。

ゆうちょ銀行
振替口座番号：00250-1-38730
銀行からの振込
店名：〇二九(ゼロニキュウ)店
口座番号：当座0038730
加入者名：学校法人フェリス女学院



「変わらないこと」と「変わること」

りてら会員の皆様、いつも同窓会活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度は新たに491名の会員をお迎えいたしました。

ようやく世の中に日常が戻り、同窓会のイベントを制限なく開催出来るようになりました。

昨年の10月は初めてZOOMを導入して、緑園で学年幹事会を開催いたしました。図書館内のラーニングコモンズ見学ツアーも実施。幹事の皆様に好評でした。りてらの決議機関である幹事会の活性化のために、今後も特別なツアーや講演会を企画いたします。

11月、緑園での大学祭では、教室を一部屋お借りして、りてらオリジナルグッズを販売いたしました。また、初めて同窓生サロンを設置。先生方や同窓生、留学生の皆様の交流の場となりました。

今年の5月は山手の150周年記念館のホワイエで幹事会を開催いたしました。今回もZOOMを導入。秋岡学院長と星野事務局長から新学部や卒業生子女等入試、ウクライナからの避難学生への支援募金についてのお話もございました。質疑応答の後、皆様に軽食をご提供し、ご歓談いただきました。

6月の山手カイパー記念講堂での合同総会の司式・説教は新学長の小檜山ルイ先生をお願いいたしました。また、團伊玖磨先生の生誕100年を記念して、Fグループの弦楽アンサンブルの演奏で校歌を歌い、素晴らしいひとときを過ごしました。同窓生のつどいは、150周年記念館のホワイエで開催。りてら初のビンゴ大会に先生方にもご参加いただき、幅広い年代の皆様に楽しんでいただけました。

今年は文学部コミュニケーション学科20周年。来年は大学60周年、そして、フェリス女学院155周年を迎えます。大学の改革が行われ、新しいグローバル教養学部がスタートします。大学は変わります。しかし、フェリス女学院の教育理念「For Others」は変わることなく、受け継がれていくことをお祈りいたします。



やまがた ゆきこ
会長 山縣 幸子 (1984J)

1984年 国文学科卒業
1984年-1995年設計事務所勤務

これまでの屋外出店に代わり教室を丸ごとひと部屋使ったブースでは、新作を含むたくさんのおグッズが並ぶ中でゆったりとお買い物出来るようになりました。実物をお手に取ってご覧いただけるまたとない機会に、両日とも多くの方にご来店、お買い上げいただきました。

また初の試みとしての『同窓生サロン』。大学祭めぐりの合間にひと休みされたり、同窓生との語らいを楽しまれたりと、皆さまにおくつろぎいただけるような空間をささやか



<グッズ売り場は大盛況>

昨年11月3日・4日、緑園キャンパスにて大学祭が開催され、りてらでは大人気オリジナル・フェリスグッズを販売しました。



学祭報告



同窓生サロンでは
久々の再会も

同じく初の試みの『寄せ書きノート』にも、ご来店と同窓生よりたくさんのおメッセージをいただきました。

今年の大学祭は11月3日(日祝)・4日(振休)に開催します。今年も魅力的なグッズをご用意してお待ちしておりますので、皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しくださいませ。

(藤田玲子1994E)



コミュニケーション学科を送る



わたなべ なみじ
渡辺 浪二 名誉教授

1994年着任後、企画・広報部長、海外交流部長、文学部長等を歴任。在職中の担当科目は「教育心理学」等。

コミュニケーション学科設立20周年、そして来年度から全学部がグローバル教養学部へ再編され、コミュニケーション学科はあらかじめ心理コミュニケーション学科に変わると聞いた。そこで、文学部が山手から緑園キャンパスに移る際、2004年にコミュニケーション学科が新設された経緯を記しておくのも意味がある。コミュニケーション学科ができる前には「コミュニケーション科目群」という学科を越えた横の副専攻が設置されていた。学生は英文、日文の学科に所属しながら科目群の教員のゼミに入り、現在と同じように卒論を書いた。最初は学科と科目群の教員の二つのゼミに入り、卒業レポートを2本書いて提出した時期もあった。このようなプロセスを経た

後、新たにコミュニケーション学科となった。その背景に、すべての教員は専攻「学科」に所属すべきであるという、当時の宮坂学部長の後押しがあった。学科設立の中心になったのは諸橋先生であり、齋藤先生、井上先生、田崎先生などがカリキュラム作成に関わった主な先生方である。学科の構成として心理学を中心にしてはどうかという意見もあったが、日の目は見なかった。当初の学科名は「多文化共生コミュニケーション学科」であったが、学内から「多文化」という用語に異論が出され、紆余曲折の結果シンプルな「コミュニケーション学科」に落ち着いた。その後の志願者の動向などをみると、結果としてこの名称で良かったと思う。文学部に文学以外で、幅広い領域を専攻できる学科を設置できたことになり、新たな志願者の開拓につながった。学科設立時から学科のカリキュラムは大きく変わることはなかった。それほど、様々な領域の教員が集合してできた学科として、絶妙に作られたのではないかと思う。しかし、今般の改変により学科名称が変わることは、去った者として寂しくもある。ただ、教員も大学の通過者にすぎない。ならば、後のことは残る方々にお任せすれば良いだけの事である。

りてら 2023年度決算報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

●収入の部(円)

科目	決算
終身会費	14,760,000
りてら募金	73,950
預金利息	452
雑収入	0
収入小計	14,834,402
前年度繰越金	52,220,068
収入合計	67,054,470

●支出の部(円)

科目	決算
総会関連費	1,268,917
会報関連費	2,564,244
クリスマスカード費	1,257,240
企画費	0
会議費	444,064
卒業・入学関連費	1,015,517
大学祭費	36,473
寄付	1,000,000
学生支援金	1,000,000
就職課支援金	300,000
交際費	18,910
会費	70,000
人件費	1,611,467
交通費	210,694
通信費	218,023
システム関連費	437,405
印刷費	6,386
事務消耗品費	45,156
手数料	10,695
備品費	119,480
雑費	28,834
予備費	1,000,000
支出合計	12,663,505
次年度繰越金	54,390,965
合計	67,054,470



<憩いのベンチ>

2023年度も「学生支援金」、「就職課支援金」、教育支援として「維持協力会」へ寄付いたしました。「学生支援金」の用途については役員会で検討して、大学側からご提案いただいた中から「ベンチ」を選択。緑園キャンパスの図書館棟前の中庭に、りてらの銘入りベンチが設置されました。

また、本学が受け入れているウクライナからの避難学生の支援の一環として100万円を寄付いたしました。(ウクライナ避難学生支援については7頁に関連記事)

寄付報告

りてら募金(追加通信費)のお願い

りてらの運営はご卒業時に納めていただく皆さまの終身会費で賄われておりますが、諸経費・通信費等の高騰に伴い、「りてら募金」として3,000円の追加通信費へのご協力をお願いしております。詳しくは公式サイト「寄付のお願い」をご覧ください。

◆ゆうちょ銀行から

記号：10210 番号：36524961
フェリス女学院大学同窓会りてら

◆ゆうちょ銀行以外から

店名：〇二八(ゼロニハチ) 店番：028 普通預金
口座番号：3652496 フェリス女学院大学同窓会りてら



ミツバチがいなくなるということは、
農作物の多くが作れなくなるということ

うめざわ なおみ
梅澤 直美さん

◆プロフィール◆

神奈川県大和市出身。1996年フェリス女学院大学文学部日本文学科学、2000年卒業。
大学卒業後は東京都内に本社を置く理美容サービスを行う企業へ就職。
2011年趣味である山登りやクライミングのスキルを磨くためカナダのアルバータ州にある登山学校へ留学。
カナダでの登山生活とこの年の東日本大震災が契機となり、自然に寄り添うような暮らしや営みを送りたいと思うようになり、移住に興味を持つようになる。
2015年に母が他界したこともあり移住を決意、山梨県南アルプス地域おこし協力隊員として、東京都から山梨県南アルプス市へ移住し農業に従事。
農業の一環である養蜂の世界に出会い、ミツバチの生態や働きを知るにつれてその面白さに魅了され、2018年730HONEYという屋号で養蜂場を開業、女性養蜂家として起業する。



2024年現在、山梨県南アルプス市中野という棚田の景色が綺麗な場所で養蜂場を営んでいます。
巣箱の飼育群数は20箱程度ではちみつの採蜜は400kg程度。
養蜂の魅力はミツバチの可愛さや生態の面白さ、はちみつの美味しさだけにとどまらず、ミツバチの自然界や人間社会での貢献度にあります。
世界中の食糧の約9割が農作物。
そのうち7割がミツバチの受粉によって農作物として成り立っています。ミツバチがいなくなるということは、農作物の多くが作れなくなるということ。
ミツバチが健康に生きられる環境を保つことで人や地域が幸せに暮らしていけるような、そんな養蜂を目指しながら養蜂場を営んでいます。
移住して8年が経ちましたが、遡ること大学を卒業してあつという間の24年。
生活あるいは人生においてすべきことやしたいことの良いバランスを取り続けることがいつの時も簡単ではないことを実感として経験してきましたが5年後も10年後も日々を自分なりに納得しながら、毎日この景色を眺めて暮らしていきたいと思っています。



幹事会報告

りてらでは毎年5月と10月に学年幹事会を開催し、同窓会運営について話し合っています。
◆2023年10月緑園キャンパスにて初めてZOOMを導入し、オンラインでの参加が可能になりました。

会議のあとは、図書館長の谷知子先生と室長の森下久さんに図書館棟のラーニング・コモンズエリアを案内していただきました。

図書館には全部で3台のピアノが。ラウンジのベーゼンドルファーは紀伊國屋ホールで使用されていたもの。



<1階ラウンジにて谷先生と森下さん>



<緑園キャンパスにて幹事会 ZOOM 配信>

ご紹介

- 会長 山縣 幸子 (1984J) 旧姓：大竹
- 副会長 島村 直美 (1984J) 旧姓：池谷
藤田 玲子 (1994E) 旧姓：大西
- 書記 貴田 里砂 (1987E) 旧姓：松田
古谷 ゆかり (1987E) 旧姓：二村
- 会計 高島 有紀子 (1994J) 旧姓：小野

イベント委員長

上原 ふみ (1985E) 旧姓：六田

会計監査

飯田 正子 (1970J) 旧姓：平野
内藤 由美 (1987J) 旧姓：林



◆次回の幹事会は
10月26日(土)
の予定です。

◆2024年5月150周年記念館ホワイエ(山手6号館)にて任期満了に伴う新役員人事などいくつかの議案のほか、秋岡学院長より大学新学部の設置についてのご説明、学院の星野事務局長よりウクライナ避難学生の支援金の募集についてのお話があり、ZOOMでの参加者を交えて進行しました。



<ラーニング・コモンズエリアのとしょキャンコーナー>

あ
る
原
風
景

みやさか さとる
宮坂 覚 名誉教授
フェリス女学院大学元学長。
国際芥川龍之介学会 (ISAS)
顧問。(公財)神奈川文学振興
会評議員。

一九六五年四月一七日、カイパー講堂においてフェリス女学院大学(文学部)第一入学式が行われた。フェリスの四年制大学の開学である。来年二〇二五年は、大学開学六〇周年を迎える。

一九六五年当時、私は、高校時代の六〇年安保騒動を引きずりながら、和敬塾(入れ違いに村上春樹も入塾して、のち「ノルウェイの森」の舞台ともなった学生寮)で学生生活を送っていた。大学は、学園紛争に揺れ喧騒の中にあった。そんな中で、フェリスの大学開学は大きな話題となった。世相とは真逆に近い情報だったからである。それは、爽やかなニュースであった。私は、その風景とはちよつと違った感慨でこのニュースに接した。以前から、その歴史に関心を持っていたフェリスの大学開学を心密かに待っていたから

である。

大学では、ポスト六〇年安保の中で行き着いた、芥川龍之介を中心とした「キリスト教と日本文学、或は日本文化」を学んでいた(それは生涯のテーマともなり、現在も進行中である)。大学院では、著作から大きな影響を受けていた笹淵友一博士(大学開学に尽力された山永武雄院長(初代学長)と知友の仲であったことを、後に知った)に師事した。そして、後期課程を満期退学した年、縁あって福岡の公立F女子大に赴任した。少人数ゆえに丁寧な指導が出来、また大学教員としても訓練された。公私ともに充実していた六年目の師走、横浜から一本の電話が入った。フェリスからである。招聘に関する打診であった。身に余る話であったが、実は、大いに動揺、逡巡した。F女子大では、大学改革の只中이었다。また同僚や学生と深い信頼関係にあった。そのような同僚や学生から離れることは至難に違いなかった。一方で、キリスト教主義学校で働きたいという宿願もあった。思い入れのあったフェリスからの招聘は、当時の私にとっても願ってもない話であった。こ

ればかりは誰に相談するわけにもいかず、自分で決断するしかなかった。大いに揺蕩うた末、四年生の卒論提出を待つてフェリス転任を公にした。落ち着かない気まずい日が続いた。が、フェリスならということ、同僚も学生たちも快く送り出してくれた。

一九八〇年四月、山手の坂を上り、フェリス女学院大学の校門をくぐった。猫坂付近の桜が満開であったことが何故か鮮烈に印象に残っている(「会報」六号参照)。

私が所属した国文科は、国語学の大家(東北大学名誉教授)のS先生、芥川賞候補になった経験を持つ上代のK先生、和服でいつも凛とした唯一女性の中世のK先生、後に早稲田に転任された近世のH先生、それに私に連絡を下さった近代のE先生であった。三〇代半ばの私から見れば、皆大先輩で学者として一家を成していた。経験のない若輩の私を、親身になって支え、訓練して下さいました。学生も、いい意味でお洒落で爽やかだった。自分が大学紛争で落ちていて学問ができなかった思いが、学生に過度の要求をしたようだ。特に、ゼミの学生は、「みんなが学者になるわけでもないのに」「紙食いゼミ」と囁かれながらも、熱心に課題に取り組んだ(その経験が社会で大いに役立つと聞く)。一方で、研究者としての私への原稿依頼も一気に増え

た。睡眠不足で倒れたこともあった。

大学教員にとって、研究と教育は、ややもすれば相反する。さらに、業務(行政)が加わる。その三者のバランスをとるのは難しかった(For Othersが背中を押してくれた)。その妙なるバランスとりを、心して愚直に務めた。この愚直な大学教員の道程を、思い込みや拙速も多々あったにも関わらず、三三年間支えてくれたフェリス人(先人、同僚教職員、同窓生、学生、ゼミ生)、そして、もうひと方にご感謝するのみである。



<山手キャンパス3号館>

INFORMATION

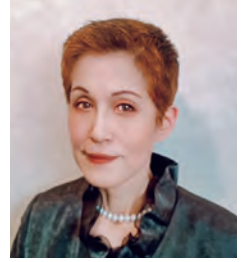
◆登録情報変更について◆

住所の変更、ご永眠者のお届けは、メールまたは公式サイトより同窓会室までご連絡ください。

◆記事募集◆

『同窓生だより』のコーナーにご寄稿いただける、様々なシーンでご活躍の同窓生をご紹介ください(自薦他薦は問いません)。また、取り上げて欲しい記事などございましたら同窓会室までお知らせください。締め切りは2025年2月末です。

Fグループの皆様



会長
永川 恵子 (25回)
えいかわ けいこ
1974年 短大音楽科ピアノ専攻卒業

功績を辿り、また同時にフェリススピリットを余す所なく存分に発揮した演奏会となりました。此処に改めてご尽力いただいた関係者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

いつもFグループの活動にご理解とご協力を賜りまして誠に有難うございます。社会生活が以前の状態に戻るに伴い、同窓会活動も活発になってまいりました。新年度早々の4月6日に、音楽学部主催Fグループ共催「山手の丘メモリーコンサート」を開催。多くのお客様とともに懐かしい先生方のご

さて、Fグループではジョイントコンサート、山手の丘の音楽会、リユニオン・レッスン「ヴィオラ・ダ・ガニバ講座」に加え、2月には新企画「ユニオン・コンサート」バロック音楽への誘い」を開催し、好評を得ることができました。そして今年度はリユニオン・レッスン「オルガン講座」を開講いたします。皆様の積極的なご参加を

お待ちしております。またこの度、故・三宅洋一郎先生寄贈の蔵書とレコードが音楽学部部長室より移管されました。貴重な資料も含まれており、卒業生・学生・教員はじめ多くの皆さまにご活用いただけるよう準備を進めたいと考えております。このような同窓会活動の詳細は本紙及びウェブサイトに掲載いたしますので、ご覧いただけますと幸いです。

Fグループご寄付のお願い

近年非常に厳しいFグループの運営に卒業生の皆様からのご支援を頂戴できれば大変有難く存じます。一口2,000円からお受けいたしております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- ◆ゆうちょ銀行から 記号：00280-3 番号：0075184 Fグループ
- ◆ゆうちょ銀行以外から 店名：〇二九(ゼロニキュウ) 店番：029
当座 口座番号：0075814 Fグループ

通信欄に「Fグループ寄付」とご記入ください。

～ご寄付をありがとうございました～

15回生より10,000円、24回生より30,000円、25回生より38,421円、蒲生 暁子さん(30回)、伊藤 千香子さん(37回)、越智 英子さん(4回)よりご寄付を賜りました。

音楽学部の近況と今後について



音楽学部長
谷口 昭弘
たにぐち あきひろ
専門分野は、音楽ジャーナリズム、西洋音楽史、アメリカ音楽。音楽雑誌、ウェブメディア等に執筆多数。

社会的なニーズや学生の要望に従ってフェリスの音楽学部は常にアップデイトしています。その特徴の1つがポピュラー音楽の学びの充実です。例えば和声の授業は、かつての「芸大和声」よりもポピュラー音楽の理論に合わせる内容になっています。また実技

レッスン担当教員としてエレキギターやベースを専門の方を採用しました。特にエレキギターの先生は22歳。おそらく音楽学部ではもともと若く学生の年齢に近い先生ではないでしょうか。吹奏楽概論という授業も昨年度に始まりました。近年はピアノや声楽だけでなく、中学・高校で吹奏楽をやってきた受験生が多くなっており、その状況を反映しています。

別料金を徴収して実技レッスンなどを行うPA科目(Performing Arts科目)は今後も維持される予定ですが、その運営を司る部署が、音楽学部からCLA(全学教育教育機構)に移ります。さらに従来の音楽学部のカリキュラムを生かした音楽の副専攻もスタートし、

音楽の学びが全学的になります。フェリスの強みとして音楽があるという認識が、広く学内では認知されるようになります。旧来の音楽学部は、4月に入学した学生が全員卒業するまで続きます。また大学院も、これまで通り音楽研究科が続く予定です。



募集情報

◆ジョイント コンサート出演者募集◆

概要：毎年10月頃・フェリスホール
 募集期間：1～2月
 応募対象：Fグループ会員
 先生・役員の推薦および書類審査あり

◆山手の丘の音楽会vol.14 参加者募集◆

概要：2025年3月27日 フェリスホール
 募集期間：24年10月10日～12月27日
 参加資格：Fグループ会員とそのレッスン生
 参加費：12,000円～

◆リユニオン レッスン受講生募集◆

〈ヴィオラ・ダ・ガンバ講座〉
 概要：月1回・火曜・同窓会室
 受講資格：Fグループ会員・フェリス卒業生
 (要音楽基礎知識)
 会費：1回2,500円～ 楽器レンタルあり
 〈オルガン講座〉
 概要：2024年8月29・30日フェリスホール
 受講資格：Fグループ会員
 受講料：12,000円 聴講のみ：1,500円

問い合わせ・申し込みはFグループまで
 ✉ ferris@fgroup.jp ☎045-350-8930



山手の丘の 音楽会

vol. 11 2023. 8. 5
 フェリスホール
 vol. 12 2024. 3. 26
 神奈川県民ホール



リユニオン レッスン

ヴィオラ・
 ダ・ガンバ講座
 オルガン講座

成人の方にも発表の場にしていただきたく名称を改め、各回熱演を披露していただき、ホールは本番の緊張感とそれを見守る温かい空気に包まれました。同窓である先生方には、当日の運営にご協力頂く事で学年を超えた交流が生まれているのも嬉しい事です。

24年度は7月と3月にフェリスホールで開催いたします。母校のホールで、生徒さんやご自身が演奏する良い機会です。ご参加をお待ちしております。

般若須美子(30回)

ヴィオラ・ダ・ガンバ講座は月1回、主にルネサンスから初期バロックのコンソート作品に取り組んでいます。夏には未経験の方にも楽しく学べるレクチャー(演奏付き)も開催いたします。(詳細は20ページ参照)

また、今年度よりフェリスホールにてオルガン講座を開講します。3つのコースを設け、一人ひとりのレベルにあったレッスンを受講することが出来ます。オルガン演奏に必要な知識や奏法を学びましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

金子明子(43回)

リユニオン コンサート

2024. 2. 23
 フェリスホール

今回新たに立ち上げたリユニオンコンサートは、演奏活動をしている卒業生とFグループが協力して作るコンサートです。



記念すべき第1回目は、ソプラノの小倉麻矢さん(46回)を中心にチェンバロの及川れいねさん(47回)他2名の方々が、パーセルやヘンデルなどイギリスのバロック音楽を演奏してくださいました。当日は冷たい雨模様でしたが、フェリスホールにとっても美しい音楽が響き渡り、素晴らしい癒しの空間となりました。

次回は2025年3月29日(土)にFグループアンサンブルによる演奏を予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。

尾見 恵美(45回)

2025年3月29日(土)14:00～ フェリスホール

【出演者】 Fグループアンサンブル(弦楽アンサンブル)
 【曲目】 W. A. モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク
 芥川 也寸志：弦楽のための三楽章
 ドヴォルザーク：弦楽セレナーデ ほか
 (関連詳細は20ページ)

ジョイント コンサート

2023. 10. 21
 フェリスホール

今回はピアノ独奏1名、ソプラノ独唱2名、フルートデュオ1組の計4組の同窓生をお迎えし、多彩なプログラムをご披露いただきました。心に響く演奏に、お客様から大きな拍手が送られました。制限のない開催となったのは4年ぶりです。集まれる喜び、表現できる喜びを味わい、音楽の力を強く感じた演奏会になりました。

今年度は10月5日(土)フェリスホールにて開催予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

小清水 桃子(55回)



23年度出演者

- ♪ 峯 梨良pf(68回)
- ♪ 黒川 青葉sop(67回) & 猪口 真理pf(59回)
- ♪ 澤崎 百合子sop(30回) & 別府 直子pf(30回)
- ♪ 要田 詩織fl(63回) & 岩崎 花保fl & 正住 真智子pf

2024年10月5日(土)14:00～ フェリスホール

【出演者】 中川 美香 org (71回) / 古崎 京花 pf (72回)
 コーロ・フェリーチェ & 大橋 多美子 cond (20回)
 & 河本 加世子 pf (50回) & 小池 圭子 sop (59回)
 ルーチェ & 小泉 ひろし cond & 宇内 千晴 org
 (関連詳細は20ページ)

久保井 明子(31回)
先生と初めてお会いしたのはフェリスに入学する年の春休みです。

2年生になり、シヨパンのバラード第1番を勉強していた時のこと、隣家の小説家から「ピアノがうるさい!」とお怒りの電話がかかって来ました。怖くて練習できず困っていることを先生にお電話すると、「何という小説家?」と。お答えすると、「わかりました。ちょっと待ってなさい!」10分後です、小説家が「宗さんのお弟子さんとは知らなかった、大変濟まない。」と謝りにいらしたのです。この時ほど先生のご人脈の広さに驚いたことはありません。



卒業後も先生は私達の研鑽の為に「午後の音楽会」を定期的に開いてくださり、Fグループのジョイントコンサートには毎年門下生の出演を推薦してくださり、ご高齢になられても必ず聴きにいらしてくださいました。

Fグループへのご寄付を賜りました際には、フェリスホールの舞台裏に姿見を寄贈致しました。

音楽に向き合うご姿勢は大変厳しくていらつしやいましたが、そのご指導は真に温かいものでした。そして、ご自身の演奏のような潔さで天に帰られました。

先生の安らかなお眠りを
お祈り申し上げます。



Fグループ 2023年度決算報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

●収入の部(円)

項目	決算額
終身会費	3,800,000
ジョイント会費	172,200
ティータイム会費	150,541
合同発表会費	746,000
宛名シール	1,000
グッズ販売	43,400
寄付金	602,275
雑収入	90,720
収入小計	5,606,136
前年度繰越金	4,828,589
収入の部合計	10,434,725

●支出の部(円)

項目	決算額
(1) 運営費	1,570,382
会議費	7,555
印刷費	8,358
通信費	128,749
人件費	874,924
交際費	62,755
事務・消耗品費	46,118
備品通費	119,800
通費	285,040
学年幹事会費	36,333
雑費	750
(2) 活動費	2,125,622
総会関係費	445,006
ティータイム関係費	93,487
会報関係費	689,374
ジョイント関係費	84,521
リサイタル関係費	38,610
支部関係費	334,224
慶弔関係費	78,200
合同発表会関係費	362,200
(3) 諸会費	370,000
連絡会維持費	70,000
維持協力会費	300,000
(4) 積立金	2,500,000
簿積立金	2,500,000
支出合計	6,566,004
次年度繰越金	3,868,721
支出の部合計	10,434,725

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。 2024年4月11日

Fグループ会計監査 小林 周子 堀内 陽子

北支部

支部長 大澤あすか(45回)

昨年11月、5年ぶりに札幌でコンサートを開催することができ感謝しております。今年6月15日にはメアリー・E.キダー宣教師がフェリス創設の後、盛岡に設けた下ノ橋教会にてコンサートを開催いたしました。メアリー宣教師がフェリスで教えた讃美歌を再現するプロジェクトが中高で行われた記事を見し、当地でも同じ思いを馳せる会を願い実現しました。

中部支部

支部長 二村里江(43回)

23年度のジョイントコンサートも盛会でした。今年度は久しぶりに中部支部の総会を開いたします。学院長の秋岡先生をお招きし、大学の様子をお話しいただきながら、支部の皆様との親睦を深めたいと思っております。

〔中部支部総会〕

日時：11月22日(金) 13時

会場：名古屋 Marriott アソシアホテル

52階 ジーニス

会費：五千元

支部だより

関西支部

支部長 桐山恵子(33回)

23年度はコロナ後の活動再開をすることができませんでした。支部の皆様にはご心配をおかけしております。24年度は10月以降に京都市内での開催を立案中です。ご希望やご意見などお聞かせいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

九州・山口支部

支部長 小串成美(25回)

昨年は5月22日に支部同窓会を開催しました。秋岡陽先生による大学の現況報告をはじめ、同窓生によるハンドベルやソプラノ吉田明未さん(62回)の演奏を交え、久しぶりの同窓会に話も弾み大変盛り上がりしました。今年9月7日(土)に九州キリスト教会館で福岡を中心に活躍中の卒業生の演奏と黒川浩先生と土屋広次郎先生をお招きしてコンサートを開催予定です。



学年幹事会報告

2024年4月18日(木) 150周年記念館606教室

出席者：35名 委任状57通 陪席7名

2023年度決算報告書、会計監査報告及び2024年度収支予算書について決議し承認後、各役員から活動報告がなされました。そして選挙管理委員会を発足し、委員5名を選出しました。

ご出席の幹事のみなさま、ありがとうございました。

熊澤 亜里紗(57回)

【寄付報告】

*ウクライナからの避難学生への支援金として63,000円を大学へ寄付いたしました。(23年総会時募金)

*決算報告内の維持協力会会費は使用目的をフェリスホール設備改修と指定した学院への寄付金です。

【新役員】

副会長：原田 かおり(30回)
会計：金子 かおり(36回)
書記：細貝 文子 (45回)
常任B：宮本 祥子 (58回)

【選挙管理委員会より】

2024年度に任期満了となるFグループ会長の選挙を会則に基づき執行します。自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会までご連絡ください。

期限 2025年2月1日
任期 2025年度から3年間
連絡先 Fグループ同窓会室

委員長 疋津 遥子(70回)

フェリスの おかげに：

齊藤 京子(34回)

アメリカ在住
ソプラノ歌手

2024年4月6日、懐かしい山手のフェリスホールでメモリーコンサートが開催された。満開の桜を眺めながら40幾年か前の入学式を思い出していた。あの日は雪混じりの雨が降っていて、式の後山梨に帰る母にサラッと別れを告げ、ルンルン気分で見舞いを受けた。私が名門フェリスに憧れを持ったきっかけは、幼馴染のお姉さんが卒業したという単純な発想からだ。そんなたわいもないことを思い出してフェリスホールに向かうと同窓会の方々が笑顔で出迎えてくれた。再来と再会の喜びでドーパミンが噴出：リハーサル間近：落ち着いて！と心で呟く。柔らかく温かくよく響くホール。自分の声もピアノとのバランスもすっかり感じられる。少し響きすぎ？でもお客さんが入ればちょうど良いだろう。パーフェクトな感触でリハーサルを終えた。3日前に帰国したばかりでピアノリストの長谷川友子さん(へいちゃん)とは当日舞台リハーサルが初めての合わせ。それでも実に気持ちよく安心して歌えたのは彼女が昔一緒に演奏した時の楽譜で忠実に練習してくれていたおかげだろう。曲

目は学生の頃試験の為に芳野先生に選曲いただいた、シューベルトの「ガニユメート」と中田喜直先生の「悲しくなった時は」。2曲とも卒業してからずっと歌い続けてきた私の大切なレパートリーだ。「悲しくなった時は」は、卒業やNHK新人音楽オーディションに合格してラジオデビューを果たしたへいちゃんとの思い出の曲である。さて楽屋では、美味しいお弁当をいただきながら諸先輩方や後輩の皆さんとともに和やかに会話が進みつつある。あつという間に本番の時間が近づいた。ホールへ向かい着席すると前列に同級生一行、中央と後方には教員たちを交えて、嬉しさと同時に緊張感もマックス！そして、司会の小林周子さんのとても優しいお話を演奏会はスタートした。会場はもうフェリスカラー一色に包まれ、ここに集った全員と天上から見守ってくれる諸先生方のスピリットを感じざるを得ない。なんとも温かい雰囲気にも包まれた。皆さ



4月6日
フェリスホールにて



んの演奏とお話に深く感動しているうちに私の出番。まずは思い出を。高校3年で入門した芳野先生のレッスンはまず腹筋100回から、と緊張のあまり予定外のことを話出してしまった。それでも絶対に話したかったこと：学生時代、第九の合唱を歌った。大ホールに響き渡る第一声は、「O Freunde, nicht diese Töne」。我師匠の実にパワフルで美しい歌声をなんと誇りに思ったことか！ベルベットのような艶のある深く温かみのあるお声は永遠に響く。そしてもう一つお話ししそびれたことを付け足したい。ある日レッスンで「ゆつくりといひ匂いを嗅ぐように鼻から息を吸ってみろ」と言われた。すると自然と耳の後ろが開いて下顎が下りる感じがする。その状態でピアノニッソを歌う。それは最高の歌のテクニクの一つ。先生には音楽の全ての基本を教えていただいた。還暦を越えた今、声も体型も若いままでいるのは容易ではないどころか不可能である。基本を忘れずできる限り歌い続けたい。「がんばれ！」と先生の忠告が降りてきた気がしてならぬ。

育の変化は否めないのだろう。「音楽学の今とこれから」と題した音楽学部長の谷口昭弘先生のお話に頷いた。私の二人の子供たちはそれぞれの大学で音楽を専攻しているが、ジャンルはジャズにヒップホップ。もちろん音楽の基本を学びながらも、とても面白い学びに魅力を感じているようだ。フェリスからヒップホップ歌手がデビューするのもそんな先の話ではないかもしれない。あの場で私は「フェリスのおかげに今の私がある」と語った。学びはもちろん、出会った素晴らしい先生方、スタッフの方々、たくさんの方々の友達、生徒たち、様々なチャンス、フェリスの何もかもが私を支えてくれたと常々感じる。そして今回の演奏会が音楽学部と同窓会Fグループの絶大な協力のもと開催されたこと、また私にフェリスホールで歌う機会をお与えくださった先生方、フェリスをこよなく愛する同窓生の皆さんに心から敬意を表し感謝申し上げます。

2024年4月17日

フェリス音楽教室

こどもたちとともに69年

2024年度生徒募集

大人向けレッスンも開講中

2歳児から高校生まで
毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>

045-212-2396

<緑園教室>

045-813-1070

ferrismusicinst.org

Fグループ会報編集

藤原 律子 (47回)

齊藤 美和子 (46回)



2023年度で退職された先生からのメッセージ

さとう ゆうこ 佐藤 裕子 名誉教授

1992年に着任。専門は夏目漱石を中心とする日本近代文学。著書に『漱石解読—(語り)の構造』(和泉書院)、『漱石のセオリー—『文学論』解読』(おうふう)、『主人公はいない—文学って何だろう』(フェリス女学院大学)



3月末で31年間勤務したフェリス女学院大学を定年退職しました。お世話になった教職員の皆様、いつもフェリスを支え、見守って下さる同窓会の皆様に心より御礼を申し上げます。大学での学びは、自分の時間割に興味・関心に応じてカスタマイズする事から始まります。先入観や思い込みを捨て、自由な囚われない心をもって、大学4年間の学びの時間を過ごして下さい。そしてタフで、優しくって、伸びやかで、自分の頭で考えて行動することのできる自立した女性になってほしいと思います。



おおにし ひろし 大西 比呂志 名誉教授

専門は政治学政治史。著書に『横浜市政史の研究』(有隣堂)、『伊沢多喜男』(朔北社)、『首都圏形成の戦後史』(日本経済評論社)、『フェリス女学院150年史(上)』など。入試部長、国際交流学部部長などを歴任。



フェリスの150年以上の歴史は、日本の近代史、横浜の国際交流史として多くの魅力、発見に満ちています。そのことを学生、教職員、関係者はどれほど知っているのでしょうか。振り返ってみると19年間担当した横浜学は、それらの発信に注力したといえます。退職を前に出した『大江卓の研究 在野・底辺・辺境を目指した生涯』(芙蓉書房出版、第33回高知出版学術賞)もその1つです。大江はキダーの学校創立を支援し、国際裁判マリアルス号事件を指揮し、様々な差別の解消に取り組みましたが、死期迫る中フェリスの生徒の前に立って訴えています。For Othersの精神は、フェリスの歴史の中からもくみ取ることができるのです。



講義のおもいで

最終講義演題：人はなぜ文学を必要とするのか 2024年1月25日(木) 緑園キャンパス7号館7101

平日に行われた最終講義には、学生だけでなく、卒業生、先生方、事務の方々と総勢130名以上が駆けつけました。

「人はなぜ文学を必要とするのか」を語る先生の姿は、31年前に上級生リーダーだった私が初めて大磯で目にした姿とお変わりありませんでした。ご講義後は多くの先生方からお言葉があり、卒業生からも花束・プレゼントの嵐。その後の茶話会にもぎやかに行われ、佐藤先生がどれほど愛されていたかが伺えるひと時でした。

(遠山 かおり1995年卒)

最終講義演題：フェリスの横浜学 2024年1月25日(木) 緑園キャンパス8号館8207

私はかつてオープンカレッジの受講生として先生から教わりました。タイトルは『横浜ヒストリア』。『フェリスと横浜』がテーマの講義はとても楽しく興味深い内容でした。2025年、フェリスは155周年を迎えます。横浜の近現代史を知ることがフェリスの歴史を知ることにつながります。先生が築かれた『フェリスの横浜学』の伝統が次の世代に引き継がれることをお祈りいたします。

(山縣 幸子1984年卒)



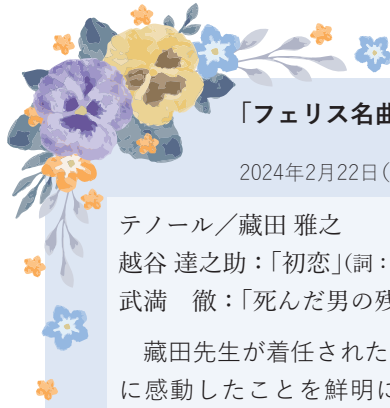
くらの まさゆき
藏田 雅之 名誉教授

1993年着任。声楽テノール。
 2009～2011年度には音楽学部長を
 歴任。

皆様、31年間お世話になりました。ゴールが見えてから最後の1年は一つ一つの行事、授業をゆっくりじっくり、踏みしめ味わいすごさせていただきました。1993年フェリスにご縁をいただいてから今日までの日々は私の人生の宝物です。芸術的環境にあふれた山手キャンパス、緑にあふれリスなどに出会える森がある緑園キャンパス、どちらも沢山の素晴らしい思い出ばかりです。このフェリスホールはおそらくゆうに100を超える回数舞台にたたせていただいたと思います。1992年クリスマスに呼んでいただいて歌唱したのが最初でした。合唱フェスティバルで合唱のクラス授業メンバーに加えて、ベラルーシ、チェコ、香港などの合唱団が招聘されて合同で華やかなコンサートでの指揮などなど。

沢山の人の出会いを頂いたフェリスとのお別れは大変さびしくもありますが、今度はそこから皆様のご活躍を応援させて頂きたいとおもっています。

ここから感謝いたしております。本当にありがとうございました。(2024年2月22日「フェリス名曲コンサート」プログラムより転載)



「フェリス名曲コンサート」第3部
藏田 雅之教授 退任記念
 2024年2月22日(木) フェリスホール

テノール／藏田 雅之 ピアノ／黒川 浩
 越谷 達之助：「初恋」(詞：石川 啄木)
 武満 徹：「死んだ男の残したものは」(詞：谷川 俊太郎)

藏田先生が着任された頃、その柔らかく明るい歌声に感動したことを鮮明に覚えています。あれから約30年、この日の「初恋」は特別な演奏でした。先生の歌は詩が音を纏うように、ずっと心に届きます。「最終講義の代わりにの演奏ですので…」というお言葉とともに、音楽家の大先輩としての思いも、お伝えくださったように感じました。 金子 明子(1994年卒)



フェリス女学院で共に音楽を学んだ学生・卒業生・教員のための

山手の丘メモリーコンサート

2024年4月6日(土)

フェリスホール

主催：音楽学部

共催：同窓会Fグループ



「77年前、フェリスの音楽科が創設されてから今にいたるまで、私たち卒業生は、多くの素晴らしい先生方により温かく育てていただきました。」優しく感謝に満ちた言葉からコンサートは始まりました。恩師に感謝を伝えるひとときをと思い、音楽学部と同窓会との共同企画として実現したコンサート。いつになく遅く咲いた桜は、この日を待っていてくれたかのように。ホールには先生方や卒業生はじめ、音楽学部にゆかりの元職員の方々もお運びくださり、あちこちから懐かしく再会を喜ぶ声がきこえて参りました。全4部にわたる長いコンサートとなりましたが、皆が音楽に聴き入る、えもいわれぬ空気感も印象的でした。語られる言葉に想いを重ね、心で音楽を聴く。そこに集った全ての方々、出演者そしてスタッフに心より感謝いたします。



メモリーコンサートのダイジェスト映像はコチラ→

I 恩師との思い出～ゆかりの卒業生によるお話と演奏～
 ～村井 範子先生を偲んで～

川村 優子(25回)／神戸 愉樹美(20回)vdg・小澤 絵里子(33回)vdg

～芳野 靖夫先生を偲んで～

土屋 友紀(48回)sop 日向 里香(50回)alt 尾藤 万希子(51回)pf
 齊藤 京子(34回)sop 長谷川 友子(34回)pf

～渡邊 明先生を偲んで～

松村 由美子(31回)sop 堀内 陽子(31回)pf
 松岡 理枝(35回)msop 梅田 朋子 pf

II ご退職された先生をお招きして 堀 由紀子／立神 粧子／藏田 雅之

III 音楽学部の今とこれから 谷口 昭弘

IV コンサート

W. A. モーツァルト：歌劇《魔笛》より〈恋を知る男たちは〉

J. S. バッハ：《マタイ受難曲》より〈来たれ、甘き十字架よ〉

G. F. ヘンデル：《メサイア》より〈アーメン・コーラス〉

sop 齊藤 京子 bar 土屋 広次郎

vdg 神戸 愉樹美・小澤 絵里子 org 宇内 千晴

concertmaster 桐山 健志

vn1 鶴田 枝里(54回)伊郷 彩花(56回)菊地 理恵(63回)

vn2 中川 里奈(48回)吉田 牧子(39回)鈴木 麻友(60回)

va 犬飼 美奈(48回)田村 しおり(50回)山田 典子(55回)

vc 磯野 由美(57回)伊藤 温佳(学部4年)下村 怜奈(学部2年)

司会 小林 周子(29回)

ロビーにてフェリスホール設備改修のための寄付を募りました。
 143,000円を大学へ寄付いたします。

関西支部

4年ぶりの関西支部総会は、神戸オリエンタルホテルにて、秋岡陽学院長と三森杏実白菊会会長のご出席をいただき、31名の恵まれた集いとなりました。総会には、新たに3名の卒業生が参加され、世代を越えて同席の機会となる同窓会の交わりの意義を再確認いたしました。

1926年11月7日、関西支部発足以来、幾多の困難な時代を経ても、本院の発展の元に存続された同窓会を顧みます時、その業に仕えて来られた先達の姿が想い出されます。しかし、関西支部は同窓生が増えているにもかかわらず定まった拠点がなく、個人的な負担の大きいことなど、困難を覚える時もあり、消極的になってしまいうことも多々あることは否めません。

今回学院長より、大学の編成に新たな見直しのあることを伺い、本学院同窓会の変革も予測される中、同窓会案内等、合理化を目指した運用方法を協議し、2026年に迎える関西支部発足100周年を見据えて、誰もが喜んで担える関西支部同窓会に転換できることを願っています。

関西支部 清水操(中高S28卒)

2024年度関西支部同窓会案内

日程 11月13日(水)

会場 京都(会場は未定)

*関西支部同窓生にはハガキでご案内いたします。

西南支部

扉を開けば山手の丘。西南支部同窓会総会が5月22日約5年ぶりに開催され34名が参加。讚美歌、お祈りに始まり最後の校歌斉唱に終わるまでの間レストランの一室はフェリスの空気を纏い、拍手笑い声そして笑顔で溢れました。年に一度、皆で集い楽しく会食する機会。初参加でも、知人がいなくてもフェリスでしっかり繋がっているから大丈夫です。この同窓会をこれから先もずっとの思いから次の4点を今総会でご承認頂き、西南支部同窓会の柱としました。

- ①支部長・会計・書記の三役廃止
- ②会費の廃止
 - ・残金42,390円は全額、母校ウクライナの学生への寄付へ
 - ・同窓会の案内は今後、支部のライン登録者に配信。
- ③同窓会日時の固定
 - ・日時 毎年5月第4水曜日
 - ・会場 レストランひらまつ博多
- ④気軽にできる幹事
 - ・同窓会開催案内の配信、人数とりまとめなど。

次回同窓会は2025年5月28日(水)です。ライン未登録の方でも大丈夫です。先ずはお問合せ下さい。お待ちしております。

西南支部 大神薫子(1990E)

中学高等学校同窓会

主の御名を賛美いたします。

フェリス白菊会の総会は、創立記念日の6月1日に行われました。議事後、小倉山ルイ大学長(中高S51卒)による、純潔運動、国家総動員、「プラトニック・ラブ」というタイトルで講演をして頂きました。5年ぶりに懇親会を執り行い、多くの同窓生の方々と和やかに楽しい一時を過ごす事ができました。

2024年9月28日(土)には、カイパーサターコンサートを開催いたします。2011年に結成しました中高OG合唱団「杏の実」の合唱です。団員一同心を込めて歌います。どうぞお誘い合わせの上、おでかけください。

フェリス白菊会会長 三森 杏実

White Daisy Fan 第24回 カイパーサターコンサート
フェリス女学院中高OG合唱団 杏の実
指揮 三森 杏実 (S47) ピアノ 美園 紀子 (S58)
編曲・指揮 サラ・リン (東京 Film 編・録音・監)
同時開催美術展 日本画展 岩崎 美代子 (S37)

2024年9月28日(土) 開場 12:30 開演 13:00
フェリス女学院カイパー記念演奏会
チケット 一般2,000円 学生1,000円 (学生は学生証を提示)
フェリス女学院中高在校生 無料
フェリス白菊会同窓会室 (火・木 10:00-16:00) Tel&Fax: 045-641-5200
主催: フェリス白菊会 後援: フェリス女学院中学校・高等学校

旧短期大学家政科同窓会

りてら、Fグループの皆様、日頃よりりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。現在りべるてでは、今後の活動について検討を重ねているところです。

今年度は大学同窓会合同総会を開き、会員に現状をお話致しました。また、ステンドグラス、北欧絵織物、お料理の講習会を開催致します。毎回りてら、Fグループの会員にもご参加をいただいております。ご希望の方は、同窓会室045-662-0750までお問い合わせください。

また、11月2日(土)中高フェリス祭に合わせて、家政科記念館への「ホームカミングデー」を開催する予定です。

今年度もフェリス女学院全同窓会の一員として宜しくお願ひ申し上げます。

りべるて会長 金子和恵



家政科記念館 冠木門 (山手6号館第2別館)

永眠者(お届けのあった方)

河野 一郎名誉教授 2023. 1. 6
 宗 施月子名誉教授 2024. 5.18
 野田 暉行先生 2022. 9.18
 井上 英子先生 2023.11. 7

りてら

加藤 隆子姉 (1953E) 2023.11.27
 那須 宮子姉 (1961E) 2021. 8. 8
 中西 裕子姉 (1962E) 2023. 8. 1
 阿部 郁子姉 (1963E) 2019. 1. 7
 塚田 久美子姉 (1963E) 2024. 2. 6
 峯松 宏子姉 (1966E) 2024. 1.24
 大木 晴恵姉 (1968E) 2021. 1. 7
 山田 芙佐子姉 (1970J) 2023.10.17
 菊竹 千枝子姉 (1972J) 2024. 4.28
 吉田 貴久子姉 (1976J) 2023. 7.16
 飯田 三那子姉 (1988J) 2023. 8.17

Fグループ

雨宮 節子姉 (3回) 2023. 8.23
 山倉 篤子姉 (4回) 2024. 4.14
 越智 英子姉 (4回) 2024. 4.14
 斉藤 芳恵姉 (4回) 2024. 4. 3
 木原 文代姉 (5回) 2022.11.21
 二階 悦子姉 (12回) 2023.10.16
 太刀川 芳子姉 (22回) 2018. 6.16
 宮原 依子姉 (24回) 2023.10.21
 伊藤 真知子姉 (25回) 2024. 4.11
 藤野 伸子姉 (25回) 2020
 中田 真理姉 (33回) 2024. 3.28
 小林 由紀姉 (35回) 2014. 2.11
 中山 綾子姉 (49回)
 東根 未来姉 (53回)

同窓会は
海外にもあります

★ニューヨーク事務所

Mrs. Rakuko Kuwayama
 136 West 24 St. New York, N.Y.
 10011 U.S.A.
 TEL 212-675-3840

★ハワイ事務所

Mrs. Chizu Hatakeyama
 3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
 96815-4211 U.S.A.
 TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579

★カリフォルニア事務所

川上 裕子(高等部S47卒)
 15035 Tierra Alta, Del Mar,
 CA 92014, USA
 TEL. 858-945-2352 Email yuko@lji.org

2023年度フェリス女学院
 中高・大学同窓会 会計報告
 (2023年4月1日～2024年3月31日)



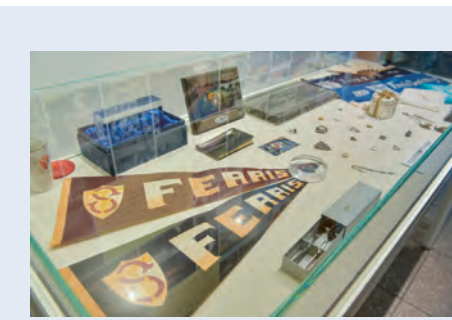
(単位：円)

前年度繰越金(2023年4月1日)		1,983,109
収入	同窓会連絡会 維持費 白菊会、りてら、りべるて、Fグループ 各 ¥70,000×4	280,000
	利息 2023年8月	9
	利息 2024年2月	9
小 計		280,018
収 入 合 計		2,263,127

支出	関西支部総会 お祝金 ¥20,000 参加費 ¥8,000 交通費 ¥44,580	72,580
	クリスマス礼拝経費	109,190
支 出 合 計		181,770

次年度繰越金	¥2,081,357
--------	------------

以上の通りご報告いたします。
 2024年4月1日 フェリス白菊会 三森 杏実



フェリス女学院歴史資料館
 開館日：月～金曜日(除：祝日、学院の休日)
 時 間：10時～16時
 担 当：渡邊(’97日文卒)、山口
 T E L : 045-662-4411
 m a i l : archives@ferris.ac.jp

フェリス女学院歴史資料館ではグラフィックや資料の展示、映像や写真を通して150年のフェリスの歩みを紹介しています。大学・短期大学の同窓生からご寄贈頂いた卒業記念品等も展示しております。皆様のご来館をお待ちしております。また、フェリスに関する品をお持ちの方はぜひ資料館にご寄贈ください。お待ちしております。

歴史資料館からのお願い

フェリスグッズコレクション

オリジナルフェリスグッズのお申し込みは各同窓会まで



りてら

■マルットサーモ
タンブラー



¥2500

■フェアトレード
ポーチ2種



ピンク ¥1000
 ネイビー ¥1200

■ハンカチ
4色



各色¥600

■三菱マルチペン
2種



軸ピンク ¥800
 軸ブラック ¥800

※ポーチはピンクがMサイズ、ネイビーがLサイズ。
 三菱マルチペンは軸ピンクが【黒・赤・シャープペン】、軸黒が【黒・赤・青】の3色多機能ペンとなっております。

Fグループ

■クリアファイル



¥400

フェリスホール
 オルガンシリーズ
 A4セット/A5セット
 各2種デザイン

※裏面にはストップリストが
 載っています

本誌紹介のグッズの他、りてらでは様々なフェリスグッズを販売中。お申し込みはりてら公式サイトグッズページまで→



上記グッズのお申し込みは
 Fグループまで→



コンサートのご案内

フェリス女学院大学音楽学部主催

オルガンコンサート「フランツ・リスト -喝采と祈り-

2024年9月16日(月・祝) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール 【入場料】一般1,000円、卒業生500円
【出演】宇内 千晴・三浦 はつみorg、梶木 久遠・峯 梨良pf

チャペルコンサート II「アンサンブルの愉しみ」

2024年10月4日(金) 18:00開場/18:30開演(19:30終演予定)
【会場】緑園チャペル 【入場料】一般・卒業生 500円
【出演】落合 敦pf、土屋 広次郎bar、中川 みのりsop、
荒井 明sax、亥埜 友理harp、檜山 結華pf

ニューイヤークンサート

2025年2月11日(火・祝) 時間未定
【会場】フェリスホール 【入場料】一般1,000円、卒業生500円
【出演】土屋 広次郎(指揮)、フェリス女学院大学音楽学部合唱団
ほか

演奏会室

ご予約: <https://ferrismusic.official.ec/>
電話 045-681-5189 メール concert_office@ferris.ac.jp



同窓会Fグループ主催

リユニオン レッスン レクチャー

「天正遣欧使節と豊臣秀吉とヴィオラ・ダ・ガンバ」(演奏あり)
2024年8月27日(火) 13:15開場/13:30開始
【会場】フェリスホール 【聴講料】1,500円、学生500円
【講師】神戸 愉樹美 ほか

ジョイント コンサート

2024年10月5日(土) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール 【入場料】2,000円
【曲目】バッハ=ブゾーニ:シャコンヌ
ブリテン:ミサ・プレビス ほか

リユニオン コンサート

2025年3月29日(土) 13:30開場/14:00開演
【会場】フェリスホール 【入場料】前売り2,500円 当日3,000円
【曲目】ドヴォルザーク:弦楽セレナーデ ほか

音楽学部同窓会Fグループ

電話:045-350-8930(木曜11:00~17:00)
メール:ferris@fgroup.jp



フェリス女学院大学同窓会会報
2024年8月発行
発行者:りてら・Fグループ
印刷:野毛印刷社

編集後記
今回は、りてら・Fグループ合同
による初めての会報発行となりまし
た。楽しくお読みいただける物をこ
れからも作っていききたいと思いま
す。よろしくお願ひいたします。



音楽学部同窓会 Fグループ

開 室:毎週木曜日 10時~17時
(大学の夏・冬期休暇中は閉室)
住 所:231-0862 横浜市中区山手町68
フェリス女学院150周年記念館
TEL:045-350-8930
URL: <https://fgroup.jp>
Email: ferris@fgroup.jp

- ◆住所等の変更、慶弔、同窓生や先生方の情報をお寄せください。
- ◆同窓生照会・校章使用申請・演奏会後援申請



同窓会りてら

開 室:毎週火曜日・木曜日 10時~16時
(大学の夏・冬期休暇中は閉室)
住 所:231-0862 横浜市中区山手町68
フェリス女学院150周年記念館
TEL/FAX:045-228-7556
URL: <https://littera.gr.jp>
Email: info@littera.gr.jp

- ◆住所変更やグッズ購入、サポーター登録など同窓会へのお申込み、お問合せには、公式サイトの利用が便利です。QRコードよりアクセスください。



Ferris Festivalは従来通りの姿を取り戻しつつあります。今年度のテーマは『Bouquet』。来場者の皆さまに楽しんで頂けるよう、各団体が様々なイベントを企画中です。



◆2024年度大学祭のおしらせ◆

日時:2024年11月3日(日祝) 4日(振休)

場所:緑園キャンパス

りてらブースではオリジナルのグッズを一挙公開!
同窓生サロンでは思いがけない出会いがあるかも?

12月になるとやってくる「クリスマス」を、皆様はどのようにお過ごしでしょうか? 「クリスマス」は、神様の一人子イエス様の誕生を祝うキリスト教の大切な行事の一つです。今年も「フェリス女学院中高・大学同窓会クリスマス礼拝」が、思い出深いカイパー記念講堂で行われます。オルガンの調べに誘われ、賛美歌を歌い、聖書の解き明かしを聴き、祈りを合わせるクリスマス礼拝にぜひお越しください。礼拝後には賛美演奏も行われます。



第33回フェリス女学院
中高・大学同窓会

クリスマス礼拝

日時:2024年
12月14日(土)
11:00~

場所:カイパー記念講堂

説教:秋岡 陽 学院長

奏楽:小清水 桃子

2023年クリスマス礼拝での献金総額300,000円
日本ユニセフ協会、日本キリスト教海外医療協力会、難民を助ける会、社会福祉法人日本医療伝道会に各75,000円寄付いたしました。